

実証事例の概要

- ・ 実証年度：令和3年度
- ・ 実証場所：宍粟市
- ・ 経営体名：I農場
- ・ 栽培作物：水稻
- ・ 実証面積：12a

実証・導入の目的

- 中山間地の棚田地域で、ひょうご安心ブランドの取得を計画しているが、現行の無人ヘリによる一斉防除では、全体の農薬成分が多い上に、山際の防除作業が困難。
- 減化学農薬防除体系を確立するため、無人ヘリとドローンの防除効果等を比較検証した。

実証・導入した技術

- ・ 技術内容：農業用ドローンによる防除
- ・ 機械名（型式等）：
ヤマハ発動機（株）製（YMR-08）



・ 液剤付着調査の様子



・ ドローン操縦の様子

取り組みの特徴・効果

- 無人ヘリとドローンで、コストやほ場あたりの作業時間に差はなかったが、無人ヘリは小区画や山際のほ場では利用できないため、総合的にはドローンの方が時間も短縮化された。
- ドローンの方が株元までの落下薬剤量が多かった。
- 中山間地での狭小ほ場でも、大きな省力化が期待できる。